

平成20年第5回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成20年5月13日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成20年5月13日	開会 1時30分 閉会 2時10分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員長 伊東 浄堯 委員長職務 代理者 亙理千鶴子 委 員 菊地 邦夫	委 員 伊藤 恒子 教 育 長 向井 一身	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 小林 美都江 生涯学習部長 渡辺 博 庶務課長 淀川 章 学務課長 前島 賢 指導室長 富士道正尋 統括指導主事 加納 一好 指導主事 浜田 真二	生涯学習課長 尾崎 充男 兼生涯学習係長事務取扱 スポーツ振興課長 林 文男 図書館長 田中 肇 公民館長 中嶋 登 庶務課長補佐 内田 泰彦 兼庶務係長	
調 製	庶務課庶務係主任 山内 和子		
傍聴者人数	0名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	議案第 1 5 号	小金井市図書館協議会委員の委嘱について
第 3	報 告 事 項	1 学務課関係スケジュール（案）の報告について 2 小学校オーケストラ鑑賞教室について 3 平成 2 1 年度小学校使用教科用図書の採択について 4 第 1 3 回東京国際スリーデーマーチについて 5 小金井市図書館協議会への諮問について 6 第 2 0 期小金井市公民館企画実行委員の選出について 7 平成 2 0 年度東京都公民館連絡協議会定期総会について 8 小金井市奨学資金の応募状況について 9 その他 10 今後の日程

伊東委員長 平成20年第5回小金井市教育委員会定例会を開会する。  
日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、互理職務代理者と菊地委員に願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

伊東委員長 日程第2、議案第15号、小金井市図書館協議会委員の委嘱についてを議題とする。提案理由につき、説明をお願いします。

向井教育長 提案理由についてご説明する。  
小金井市図書館協議会委員のうち第1号委員に欠員が生じ、補充をする必要が出たため、本案を提出するものである。  
細部については図書館長から説明する。よろしくご審議の上、ご議決賜るようお願い申し上げます。

田中図書館長 議案第15号の図書館協議会委員の委嘱についてご説明する。  
委員のうち、学校長推薦の1号委員であった小金井市立南小学校校長の松尾耕作委員が、校務の都合により4月8日付けで辞任された。後任の委員について、小金井市立第四小学校の渡辺一雄校長が推薦されているので、議案として提出させていただいたものである。このことにより第10期図書館協議会委員名簿は別紙のとおり変更になる。平均年齢は53歳から52.3歳に、男女比については、女性6人、男性4人と変更はない。  
ご承認いただければ、市報6月1日号で委員選任をお知らせし、7月11日に開催予定されている平成20年度第2回の図書館協議会で委嘱を予定している。  
説明は以上である。

伊東委員長 事務局の説明が終わった。質問、ご意見はあるか。  
それでは、お諮りする。  
小金井市図書館協議会委員の委嘱については、原案どおり委嘱することにご異議ないか。

(委員一同異議なしの声)

伊東委員長 異議なしと認める。本案は原案どおり委嘱することと決定した。よろしく願いする。

次に、日程第3、報告事項に移る。順次、担当から説明をお願いする。

報告事項1、学務課関係スケジュール(案)の報告についてお願いする。

前島学務課長 報告事項1の資料をごらんいただきたい。

本年度を含めて重点課題としているもの3つについて、大筋ではあるが、お示したほうがよろしいかと思い、報告させていただく。

1点目の学校給食アナフィラキシー対応ガイドライン策定計画であるが、学校給食でのアナフィラキシー症状を発症するおそれのある児童・生徒の学校給食の対応としては、現在は各学校の学校長の判断で行っている状況である。給食室の設備や個々の児童・生徒の症状とその対応については、ケースごとの判断となるが、最近の調査では、何かしらの食物アレルギーがあると回答した児童・生徒数は300人程度となっている。除去食等を提供している児童・生徒数は90人程度という形になっていた。こうした状況の中で、現場での判断の一助というか、ガイドラインを策定して、今後、各現場に役立てていただきたいというふうな考えで策定に向けた作業を開始している。学務課のスケジュール(案)をこういうふうに提示しているが、順次取り組んでいる状況である。策定期間は、2学期の学校給食の開始を目標に設定し、8月中の策定を予定している。

2点目であるが、食材の値上がりの影響を受け、給食費の改定のスケジュールという形を提出している。今、作業を開始している。4月から6月というところであるが、栄養士会で6月まで価格調査をして、その後、原価計算をして、改定に向けた一連の作業を行う予定であるが、ここの改定の必要があると判断されれば、12月でかかわってくる就学援助費の補正を、年度途中であっても補正して、3学期からの改定を目標としたスケジュール(案)を作成させていただいている。

続いて、裏面にいって、3となっているが、JR中央線の高架化完成に伴う通学区域見直しスケジュールということになっている。

まず、初めのほうに小金井市立学校適正学区等検討作業部会というのがあり、既に要綱が制定されているが、実態としては今ない状態である。高架化がおくれたことも関係して、来年度から作業部会を開始して、その後、審議会を設置する予定としている。平成15年3月の小金井市学校教育推進検討委員会の答申で、中央線の高架後の通学区域については、高架後に抜本的改革を行い、適正な通学区域と適正規模の学校の実現を図っていくことが望ましいと答申されているので、高架後に抜本的な見直しを行えるよう、それに合わせたスケジュールとさせていただいている。

学務課からは以上である。

伊東委員長 説明をいただいたが、何かあるか。

私のほうから一つ、二つ。アナフィラキシー、私、不勉強なので、よくわからないが、これはどういうものか。

前島学務課長 食物だけとは限らないが、ショック症状を起こし、呼吸困難とかを起こすような、かなり重度なアレルギー症状だというふうに聞いている。

伊東委員長 アレルギーの一種なのか。

前島学務課長 そうである。

伊東委員長 そうか。

伊藤委員 アナフィラキシー対応というか、いわゆるアレルギー対応については、今まで学校長がそれぞれ対応するという形になっていたのは、私は大変厳しい現実だなというふうに受け取っていた。そういう意味で、学務が進めてくださっているガイドラインの策定ということは、大変すばらしいことだというふうに思う。できるだけ早くやって、それに従って学校が判断し、また、プラスアルファ、個々の対応があると思うが、その個々の対応に対してもやはり学務、教育委員会がかかわっていくような形でやっていかないと、今後厳しい状態が起こってくると思うので、ぜひしっかりこれに対応していただけたらありがたいというふうに思う。

亙理委員長 重要項目が見通せるこのような書類を出していただいて、まず、  
良かったと思ってお礼を申し上げたいと  
職務代理者 思う。  
学校給食費のほうであるが、報道等によれば、今、説明があったように、食材が非常に上がっていて、給食費を上げざるを得ない自治体が多くなっているということであるが、検討した結果、この1月に給食費改定がない場合もあると思うが、それでも今の現状で何とかなるのか。

前島学務課長 ただいま、栄養士会のほうで価格の調査をしている。実態としてどの程度のものができ上がるのか調査段階であるので、今のところ何とも言えないが、今現在は栄養士のほうで工夫しながら、栄養価を落とさないようにしながら努力しているというのが現状である。

伊東委員長 いいか。

亙理委員長 はい。  
職務代理者

伊東委員長 通学区域の見直しのことで、平成21年、来年の4月から検討作業部会を開催するということであるが、たしか10年に1回ずつの改定、見直しというのをやっていたような気がするが、その辺どうなのか。たしかちょっと早目にやるような形になるのではないかなと思うが、その辺は、今後、その後また10年ごとの見直しとか、そういう決まりみたいなのはあるのか。

前島学務課長 申しわけない。今、初めてお伺いしたような状況である。

伊東委員長 そうか。

前島学務課長 10年ごと……。

伊東委員長 10年ごとにたしか見直していたような記憶がある。

前島学務課長 不勉強で申しわけない。そこら辺の整合を図りながら、また再度……。

伊東委員長 今回は、中央線高架化の関係があるから、私はこれでいいと思う。いろいろなご意見が出ると思うので、上手な学区割りにして、学校でも少し人数のばらつきが出てきているので、それも上手に調整されるといいかなと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

ほかにあるか。

報告事項2、小学校オーケストラ鑑賞教室についてお願ひする。

加納統括 オーケストラ鑑賞教室について報告させていただく。

指導主事 5月9日金曜日午後2時から、武蔵野市民文化会館大ホールにて、6年生児童約900名が参加し行われた。当日は日本ニューフィルハーモニー管弦楽団により、ブラームス作曲ハンガリア舞曲第5番、チャイコフスキー作曲白鳥の湖など4曲が演奏された。

鑑賞の様子であるが、児童の鑑賞態度はよく、身を乗り出すようにして演奏を聞いていた。また、指揮者体験コーナーの場面もあり、代表の児童2名がオーケストラの指揮に挑戦し、とても上手に指揮をすることができた。そして、会場の児童や楽団員から大きな拍手をもらっていた。

以上、報告を終わる。

伊東委員長 よろしいか。

報告事項3、平成21年度小学校使用教科用図書の採択についてお願ひする。

加納統括 平成21年度市立小学校使用教科用図書の採択について報告させていただく。

指導主事 平成21年度市立小学校使用教科書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に基づき、教育委員会が採択することとなっている。今回の採択は、新しい学習指導要領ではなく、現行の学習指導要領に基づく文部科学省検定済み教科書についての採択である。新しい学習指導要領は平成23年度から完全実施となるため、今回採択する教科用図書は平成22年までの2カ年の使用となる。今後、教科書採択にかかわる法令及び要綱等に従い、平

成21年度小学校使用教科用図書採択の調査研究及び事務手続を進めてまいる。

具体的には報告事項3資料をごらんいただきたい。小金井市教育委員会に、採択に必要な資料を得るために、各学校の報告書をもとに教科書選定調査委員会及び教科ごとに教科書調査委員会を設け、調査研究及び資料作成をしていただく。そのほか主な事務日程等については、資料のほうをご参考にしていただきたい。

報告は以上である。

伊東委員長

ありがとう。

質問はあるか。いいか。

報告事項4、第13回東京国際スリーデーマーチについてお願いする。

林スポーツ  
振興課長

報告させていただく。

第13回東京国際スリーデーマーチは、5月3、4、5の3日間の日程で開催した。参加人数については配付資料のとおりで、総計2万6,088人で、前年より3万2,995人の減となっている。

次に、参加者の病人・けが人等の状況であるが、報告されているものでは、転倒などによる裂傷・打撲などが数件ということで、いずれも入院するほどのものではなかったとのことである。

苦情についてご報告する。現在までメール等で入ってきているものについて数件あるが、いずれも、参加者が道幅いっぱい広がる、歩道を全部使って歩いているというようなことの苦情が数件あった。これについては関係者と調整して、来年からはこういったことがないように参加者に徹底していきたいと思っている。

中学生ボランティアについてご報告する。中学生ボランティアは全中学校にご協力いただき、全市立中学校から合計174人、3日間、延べ人数で223人ご参加いただいた。ボランティアの内容は、スタート・ゴールでのチェックカードのスタンプ押しなどで、大変熱心に協力していただいた。参加された中学生については、市長、教育長の連名で、後日、感謝状を贈る予定となっている。

また、高校生のボランティアについては、合計7人、3日間で延べ10人が参加していただいた。

それから、市内の協力団体により、武蔵小金井駅・東小金井駅で



の案内、また会場の出店について団体さんのほうに協力いただいている。

ことしから、参加者へ配布する物品の封入のボランティアを、スリーデーマーチの参加無料ということを条件に募集した。申し込まれた47人の方に封入作業を行っていただいた。

報告は以上であるが、皆様のおかげで無事終了することができた。どうもありがとう。

以上である。

伊東委員長           ただいま報告いただいた。

菊地委員             大分減ったのは天候のせいかな。

伊東委員長           どうか、林課長。人数が減ったのは、何か心当たりでもあるかな。

林スポーツ  
振興課長             初日は確かに雨の影響でかなり少なかったと思うが、2日目、3日目については、見た限りではというか、昨年までとあまり変わらなかったと思う。

伊東委員長           ほかに何かあるかな。

林課長、3日間お疲れさまであった。また、それに関係する皆さんもずっと、せっかくの連休なのに出勤していただいて、ほんとうにありがとう。お疲れさまであった。無事終わってよかった。

亙理委員長  
職務代理者           子どもたちの参加が増えて、千葉県の船橋のほうのある幼稚園では保護者も含め75人が10キロを歩いたということで、私など1日目にあまりの雨で途中で逃げたので、恥ずかしく思った。

伊東委員長           ただ、市内の方がもう少し歩いてくださるといいかなという感じはする。

向井教育長           私も3日間、大会に参加させていただいたが、確かに市内の方の参加というのが今年は多くは見えなかった。特に、幼稚園生はいたが、中学生、小学生がほとんど見当たらないということで、そういう今、歩育というか、歩いて育てるといような運動もあるので、

来年度、小・中学生が参加しやすいような何か手だてがあったら、やってみたいなというふうに考えている。

伊東委員長

ご検討よろしく願います。

報告事項5、小金井市図書館協議会への諮問について願います。

田中図書館長

平成20年度第1回図書館協議会を4月24日午後6時から図書館本館で開催し、図書館運営体制の見直しについてを別紙の報告事項5の内容をもって諮問したので、報告する。

図書館では、小金井市第2次行財政改革大綱改定版で図書館業務の見直しとして、移動図書館等業務の見直しを行い、一部非常勤嘱託化を図る、図書館本館の業務、開館時間の延長等の見直しを行い、一部非常勤化を図るが項目として挙げられていた。よって、平成16年7月2日付けで小教図発第6号をもって図書館運営体制等の見直しについてを図書館協議会に諮問し、平成17年6月15日に答申を受けた。この議論過程及び答申に基づき、正規職員5名を減員し、非常勤嘱託職員を増やし、現在、正規職員16名、非常勤嘱託職員23名を配置して、サービスの拡大を図っているところである。

しかしながら、議会においては、行財政改革調査特別委員会で図書館への指定管理者導入への陳情書が提出され、現在審議中であり、また、開館時間拡大に関する質疑も多く出ている。そして、市民アンケートや図書館長への声としても、開館時間や開館日の拡大が多く寄せられている。

なお、前回の答申においては、図書館の市民サービスの基盤が一定整備できた時点で初めて、図書館業務のあり方、委託、NPO、指定管理者などを見直す必要があると結んでいるが、答申後、3年近くとなり、一定の成果が出ていると考えており、これ以上のサービスの拡充を図るには、現行の枠組みの人員体制では困難と考え、再度、どのように図書館運営体制の見直しをしたら市民要望にこたえることができるのかについて諮問したものである。

4月24日当日は、公立図書館の指定管理者制度について委託業者の業務想定範囲、図書館業務を一部委託した場合のサービス効果などの配付資料の説明を行い、以降6回の審議を予定し、次回は7月11日に開催し、答申は平成21年7月を予定している。

なお、職員については、本館及び分室の代表者による図書館運営会議を月1度開催し、そこで質疑をしていただき、また、月に1度開催される職員の全体会議で報告し、そこでの意見を吸い上げて、今後進めてまいりたいというふうに考えている。

報告は以上である。

伊東委員長

ありがとう。

何かあるか。よろしいか。

次へいく。報告事項6、第20期小金井市公民館企画実行委員の選出についてお願いします。

中嶋公民館長

第20期小金井市公民館企画実行委員選出について、小金井市公民館条例第21条に企画実行委員の設置として、公民館に公民館の行う各種事業の専門的な事項を調査研究並びに企画実施に当たるため、青少年教育、成人教育、文化活動及び視聴覚ライブラリーの公民館企画実行委員を設けることができる、とある。また、小金井市公民館企画実行委員選出要綱により、成人教育・文化活動部門の委員数は各館6人以内、5館で30人以内となる。

このたび、第19期委員の任期が平成20年7月20日に満了するので、第20期の委員候補者について、各種団体からの推薦並びに市民からの候補者募集を市報5月15日号に掲載する。任期は平成20年7月21日から22年7月20日まで。予定について、本館で説明会を6月3日午後2時から、推薦・立候補者の締切りは6月13日午後5時まで、本館で候補者調整会は6月17日午後4時から、教育委員会に同意の議案書提出は7月8日、また本館で委嘱状を7月22日午前10時から交付、公運審に報告は7月25日を予定している。

以上である。

伊東委員長

ありがとう。よろしくお願いします。

中嶋公民館長

はい。

伊東委員長

いいか。

それでは、報告事項7、平成20年度東京都公民館連絡協議会定

期総会について願います。

中嶋公民館長 過日、4月16日水曜日午後2時から3時30分まで、東久留米市立中央公民館ホールにおいて平成20年度東京都公民館連絡協議会定期総会が開催された。代議員数94人中83人の出席と6人の委任状提出により、総会は有効に成立。町田市が議事進行。平成19年度事業報告、一般会計予算並びに決算の認定、財産調書、監査報告、平成20年度の役員について承認され、次いで、羽村市が平成20年3月末日に脱退届の提出があったことが報告された。次に、平成20年度運営方針及び事業計画、一般会計予算、特別会計予算の各案が質疑の後、可決され、第46回東京都公民館研究大会は、町田市を大会事務局市として本年12月14日日曜日に開催される。

なお、市制施行順に改正となったので、三たび、小金井市は平成21年度に第47回東京都公民館研究大会事務局市になる。

以上である。

伊東委員長 ありがとう。  
報告事項8、小金井市奨学資金の応募状況について願います。

淀川庶務課長 小金井市奨学資金の応募状況についてご報告する。  
今年度は4月1日火曜日から出願書を配付し、4月30日水曜日まで出願の受け付けを行った。

応募状況であるが、高校生が定数35人に対して45人、大学生が定数3人に対し9人、合計54人の応募があった。過去の応募状況であるが、平成15年度が高校・大学合わせて86人、16年度が50人、17年度が53人、18年度が49人、19年度は49人となっている。前年度と比較すると、高校生がプラス4人、大学生がプラス1人で、合計5人の増となっている。

今後の予定であるが、5月27日に第1回奨学資金運営委員会を開催し、応募者の中から高校生35人、大学生3人、合わせて38人の奨学生を選考する予定となっている。

また、委員となっている亘理委員長職務代理者と伊藤委員には、ご出席についてよろしく願います。

以上である。

- 伊東委員長 何かご質問はあるか。  
一時から比べると大分応募者が減ってきているのか。
- 淀川庶務課長 そうである。
- 伊藤委員 減った原因はどのようなものなのか。  
奨学金を給付した結果として何も残らなかったのも、奨学金が給付されてどうだったのかが分かるように、最終に自己評価をしていただくという形をとって、レポートを提出していただくことになった。そのときに急に人数が減ったように思うが。
- 淀川庶務課長 平成16年度の奨学生を募集するときに、奨学資金の目的を明確にするため、市報等に「成績優秀にもかかわらず」という文言を加えた。このときに申込者が減っている。
- 伊東委員長 世の中の経済状態とかそういうことではなく、本来の制度の主旨によるものか。  
分かった。ありがとう。  
報告事項9、その他はあるか。
- 亘理委員長 2点ある。イスラエル・パレスチナ高校生の招待について、お聞きしたい。それともう一つは、昨日の新聞報道により、学校図書の充足率が、東京都62区市中、小金井市59位となっていて、驚かれた市民も多いと思う。その理由も書いてはあったが、もう一度ここで説明をお願いしたいと思う。
- 向井教育長 中東和平プロジェクトに関して何を……。
- 亘理委員長  
職務代理者 詳しいことがまだよく分かっていないので。
- 伊東委員長 イスラエル・パレスチナのことについて
- 亘理委員長 何人だとか、どういうところにホームステイするのかとか。

職務代理者

向井教育長            まだ細部が決定していない。作業部会のほうで細部を今、検討しているところであるので、またいずれかのときにまとめてご報告申し上げたいと思う。

亘理委員長  
職務代理者            分かった。

伊東委員長            各学校の図書の充足率について。

前島学務課長        読売新聞かと思うが、この表で59位となっている。よくよく見ると、学校図書費充足率というふうになっている。学校図書費の根拠は、地方交付金の制度に由来しているものと思われる。地方交付金を小金井市は受けていないが、受けた場合の試算を国のほうはしている。例えば交付金があったとすると、学校図書費に使えるのは幾らという基準があるようであるが、それに対する小金井市の予算の額を58.1というふうに言っていると推測する。予算が、交付金の額の58.1%だからといって、決して学校図書の蔵書の充足率になっているわけではない。今、新しいというか、19年度末のものについては蔵書数を調べているところであるが、18年度末の結果を見ると、小金井市の小学校の基準蔵書数というのが、国のほうで決めているが、それに対する充足率としては112.8%となっているので、基準蔵書数を上回っているという形になっている。中学校についても100%は到達していないが、95.8%というふうになっている。

この順位が低い高いというのは、蔵書数そのものに比例していないと思う。というのは、予算が低いということは、充足しているために予算が低くなっているということと、逆に、充足していなくても、力を入れていなくて予算がないといったケースもあろうかと思う。逆に高いほうがいいかという、またそれも一概には言えないと思う。今まで充足率を達成していないから予算を多くつけていることも考えられなくはないということなので、この読売新聞の報道の表自体もちょっと作りがいかげんなものなのかなと、逆に私のほうは思っているところである。

以上である。

小林学校  
教育部長  
今、学務課長が説明したように、この新聞の記事が学校の蔵書数の充足率というふうになれば、新聞を読んだ方はわかりやすいが、学校図書費の充足率となっているので、これほどこの区市町村も正しい数字であらわされていないと思うので、ちょっとこの辺が誤解を生じるのかなと担当としては思っているところである。充足率が58%なので、このまま市民の方が読むと、小・中全体で58%にしか充足していないのかなと読めてしまうが、実はよくよくこの表の横を見ると、学校図書費充足率であるので、当然、かなり充足されていればこの図書費は少なく済むので、これはあくまでも19年度の図書費の充足率ということであるので、なかなか読みづらい記事になっていると思う。

伊東委員長  
なるほど。

亘理委員長  
職務代理者  
ありがとう。

伊東委員長  
先ほど学務課長のほうから基準というのがあった。小学生が112.8%で、中学生が95.8%という充足率だと。それは蔵書数のほうで。ほかの市あたりはどんな感じなのか。そんなデータがあるんだったら、急に言っても出ないか。

前島学務課長  
申しわけない。今、すぐ出てくればいいが……。

伊東委員長  
いい、また……。

前島学務課長  
一覧になっているのがちょっと今、手元にない。

伊東委員長  
分かった。

伊藤委員  
ほかの質問でよろしいか。

伊東委員長  
いい。

伊藤委員 先日の広報で、小金井市教育委員会の基本方針ということで大変すばらしいのを出していただいた。ありがたいことである。1つ、その中で質問させていただいていいか。大学等との連携の中のコンソーシアムというのがあるが、このコンソーシアムというの、具体的に学校はどのような取り組みをしているのか教えていただきたい。

浜田指導主事 それ指しているのは東京学芸大学との連携事業のことで、学芸大学、小金井市教育委員会、小平市教育委員会、国分寺市教育委員会が連携した共同研究のことである。具体的にやっているのは、コンピューターを活用した授業づくりという研究を昨年度は1年間やってまいった。今年度もそれを継続する予定である。

以上である。

伊東委員長 いいか。

伊藤委員 分かった。コンソーシアム、私もわからないので、カタカナ辞書を頼りに引いたが、どうしても経済的な活動しかコンソーシアムというところには出てこなかったの、学校でやるコンソーシアムというのはどういうのか大変疑問に思った。しかも、大学との連携というと、なぜこういう名前なのかということも疑問に思って、私のような方も大勢いらっしゃると思うので、やはり具体的に内容がわかるような取り組み、ネーミングというか、そういうことも、わかりやすさということでは今後検討していただけたらうれしく思う。

以上である。

伊東委員長 よろしく願います。

その他、よろしいか。

報告事項10、今後の日程、願います。

内田庶務 教育委員会の今後の日程についてお知らせする。お手元の議案書、  
課長補佐 最後のページになる。

5月16日金曜日午後1時より、関東甲信越静岡市町村教育委員会連



合会総会及び研修会が、山梨県立県民文化ホールで開催される。当日の総会等の日程については既にお知らせしているが、現地へ向かう時間については、乗車券等の手配もあるので、後日改めてご案内をさせていただく。全委員のご出席をお願いします。続いて、5月21日水曜日午後2時より、東京都市町村教育委員会連合会総会が東京自治会館で開催される。こちらについても、お集まりの時間等についてはまた改めてご案内をさせていただく。全委員のご出席をお願いします。5月27日火曜日午前10時より、平成20年度第1回奨学資金運営委員会を開催する。場所は801会議室となる。こちらについては、先ほど庶務課長のほうからもお願い申し上げたとおり、亘理委員長職務代理者、伊藤委員のご出席をお願いします。5月27日火曜日午後1時30分より、第6回教育委員会定例会を801会議室で開催する。全委員のご出席をお願いします。7月8日火曜日午後1時30分より、第7回教育委員会定例会を801会議室で開催する。全委員のご出席をお願いしたいと思う。

本日現在、教育委員会の今後の日程については以上である。

伊東委員長

ありがとう。

報告事項が終わった。

本日の審議はすべて終了した。

これをもって、平成20年第5回教育委員会定例会を閉会する。  
お疲れであった。

閉会 午後2時10分